

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	THB124C	ビジネスマナー II C	
科目名（コード）	THB124	ビジネスマナー II C	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	竹内 通子	時間数	
成績評価教員	竹内 通子	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	日本語を使ったビジネスを行う上で十分な日本語力を養い、日本語能力試験N2の取得を目指す。
全体の内容と概要	N2の文字語彙文法を中心に学ぶ。試験形式と同様の4択問題を使い資格試験の対策をしっかりと行う。試験形式とは異なるが、語彙を書かせる問題にも取り組みしっかりとした定着を目指す。
授業時間外の学修	授業で学んだ語彙、漢字を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	語彙・グラフでの内容理解	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題 5 日目
2	語彙・図での内容理解	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題 6 日目
3	語彙・比較問内容理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題 7 日目
4	語彙・グラフ内容理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題 8 日目
5	語彙・比較問内容理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題 9 日目
6	図・表・比較問内容理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題 10 日目
7	文法・接続詞・副詞理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 3 ⑦
8	文法・接続詞・副詞理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 3 ⑧
9	JLPT模試	JLPT模試 N2 読解解説
10	JLPT模試	JLPT模試 N2 読解解説
11	文法・接続詞・副詞理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 4 11 日目
12	文法・接続詞・表理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 4 12 日目
13	文法・図・接続詞副詞理解	パワードリル文字語彙N1 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 4 13 日目
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必ずできる！JLPT「読解」N2 パワードリルN2 文字語彙
参考文献・資料等	適宜配布
備考	木曜日 2 限